

令和5年度大阪府三島医療・病床懇話会 議事概要

日時: 令和6年1月25日(木) 午後2時から午後4時20分

開催場所: 大阪府茨木保健所 5階 大会議室

出席委員: 委員総数15名のうち12名出席(他、代理出席1名)

根尾委員、小西委員、松方委員、原山委員、保田委員、上野委員、山内委員、堰口委員、木野委員、田尻委員、高岡委員、古川委員、三宅氏(石田委員代理)

■議題1 第8次大阪府医療計画の概要と基準病床数について

資料に基づき、大阪府健康医療部保健医療室保健医療企画課から説明。説明後、質疑応答。

【資料1-1】第8次大阪府医療計画(素案)概要

【資料1-2】「新興感染症の発生・まん延時における通常医療の提供体制確保」(素案)概要

【資料1-3】第8次医療計画における基準病床数設定と今後の対応について

【資料1-4】第8次大阪府医療計画 策定スケジュール(令和5年度後半)

【地域医療構想】

(質問)

○高度急性期と急性期を分けて評価する必要性を感じない。今後の評価にあたっては、高度急性期と急性期を併せて考えてもよいのではないか。

(大阪府の回答)

○本意見や国の検討状況も踏まえ、府における地域医療構想の進め方について検討していく。

■議題2 新興感染症の協定締結の状況について

資料に基づき、大阪府健康医療部保健医療室感染症対策企画課から説明。説明後、質疑応答。

【資料2】感染症法に基づく医療機関との協定締結について(三島二次医療圏)

【資料2(別添)】感染症法に基づく医療機関との協定締結三島二次医療圏医療機関(病院)
別協議状況 一覧

質問・意見は、特になし。

■議題3 第7次大阪府医療計画最終評価・第8次大阪府医療計画 圏域編(案)について

資料に基づき、大阪府茨木保健所から説明。説明後、質疑応答。

【資料3-1】第7次大阪府医療計画 最終評価 三島二次医療圏における医療体制

【資料3-2】第8次大阪府医療計画 三島二次医療圏における医療体制(素案)

【地域医療構想】

(質問)

○2022年度に高度急性期の病床数が大きく増加し、急性期病床が大きく減少しているが、要因は何か。このような状況では、目指すべき方向性がわからない。

(大阪府の回答)

○高度急性期病床の大幅な増加と急性期病床の減少は、2022年度に大阪府で病床機能の報告基準を設定したことが影響していると考えられる。ただ、既存の病床内で機能分化を行う必要がある中、現状のデータ分析からは回復期病床がより不足しており、同機能への転換が第一に必

要と考える。

■議題4 令和5年度「地域医療構想」の取組と進捗状況

資料に基づき、大阪府健康医療部保健医療室保健医療企画課から説明。説明後、質疑応答。

- 【資料4】令和5年度「地域医療構想」の進捗と医療体制の状況(大阪府・三島二次医療圏)
- 【参考資料1】過剰な病床の状況
- 【参考資料2】医療法上の過剰な病床の状況
- 【参考資料3】地域医療構想に関する各種データHP公表について
- 【参考資料4】三島二次医療圏における各医療機関の診療実態
- 【参考資料5】三島二次医療圏における各医療機関の入退棟経路
- 【参考資料6】三島二次医療圏における回復期病床への転院・転棟等にかかる状況
- 【参考資料7】地域医療構想の推進にかかる支援策

質問・意見は、特になし。

■議題5 令和5年度三島二次医療圏における各病院の今後の方向性

資料に基づき、大阪府茨木保健所から説明。説明後、質疑応答。

- 【資料5-1】令和5年度病院プラン結果概要(大阪府・三島二次医療圏)
- 【資料5-2】令和5年度病院プラン(抜粋)医療機関別一覧(三島二次医療圏)
- 【資料5-2(別添)】公立病院経営強化プランの策定について
- 【資料5-3】非稼働病床の現況について(三島二次医療圏)
- 【資料5-4】令和5年度三島病院連絡会結果(概要)
- 【参考資料8】病床機能の再編支援について(申請病院一覧)
- 【参考資料9】重点支援区域について

【各病院の対応方針(病院プランにおける2025年に検討している病床機能等)】

(1) 公立・公的病院

(第一東和会病院・東和会いばらき病院への意見)

○急性期病床への転換を希望する理由は十分理解できるが、地域の医療機関が納得できる過程が必要ではないか。

(大阪府の回答)

○昨年度、一部回復期に転換する前提で合意を得られた経緯がある。回復期がより不足している状況であるため、転換の検討に当たっては、回復期を第一にしていきたい。

(みどりヶ丘病院・茨木みどりヶ丘病院への質問)

○茨木市で医療を完結したいという思いは理解したが、茨木市民が高槻市内の病院に搬送されたとしても平等に対応している。茨木市と高槻市の医療機関数に格差はあるが、救急医療については二次医療圏で考えることが重要。

○茨木みどりヶ丘病院において急性期病床が増加し、茨木市誘致病院により急性期病床が整備されると茨木市の急性期病床が大幅に増えることになる。茨木市誘致病院事業の全体像が見えてこない、本計画への判断が難しい。

○病院の再編を希望する理由は十分理解できるが、地域の医療機関が納得できる過程が必要ではないか。

(みどりヶ丘病院・茨木みどりヶ丘病院の回答)

○今回の再編は高槻から茨木に約100床のみを移す計画で、病院移転計画ではないことは理解いただきたい。高槻でも引き続き地域医療支援病院として地域貢献していきたい。

(2)その他、民間病院等

質問・意見は、特になし。

【茨木市誘致病院事業】

(意見)

○茨木市における医療体制や小児救急の充実を求めることは理解できるが、病床機能等、具体的な説明がなければ、全体像がわからない。

○茨木市、茨木保健所、大阪医科薬科大学と三島南病院とで協議し、データを示して説明いただきたい。

(茨木市の回答)

○誘致病院については、令和4年3月に基本構想を策定し、その後公募で事業者を募集し決定した経緯があり、みどりヶ丘病院の再編と並行して進めているものではない。

○基本協定もまだ締結しておらず、物価高騰などを踏まえ見直しについても検討している状況。

【保健医療協議会において対応方針について説明を依頼する病院】

●第一東和会病院・東和会いばらき病院

※現在の病院プランのままであれば説明が必要。昨年度合意された内容に戻す場合は説明不要。

●みどりヶ丘病院・茨木みどりヶ丘病院

●その他意見(茨木市誘致病院事業について)

みどりヶ丘病院・茨木みどりヶ丘病院の再編の協議もあるので、茨木市誘致病院誘致事業について、茨木市・大阪医科薬科大学に対し、保健医療協議会において説明を求めるべき。

【重点支援区域の申請(申請しないことについて)】

質問・意見は、特になし。

【病床機能再編支援事業申請医療機関】

質問・意見は、特になし(申請医療機関なし)。

■議題6 地域医療への協力に関する意向書の提出状況

資料に基づき、大阪府茨木保健所から説明。説明後、質疑応答。

【資料 6-1】地域医療への協力に関する意向書提出状況(三島二次医療圏 診療所新規開設者)

【資料 6-2】地域医療への協力に関する意向書提出状況(三島二次医療圏 医療機器新規購入・更新者)

質問・意見は、特になし。

■議題7 地域医療連携推進法人設立について

資料に基づき、大阪府健康医療部保健医療室保健医療企画課・社会医療法人東和会から説明。
説明後、質疑応答。

【資料7】地域医療連携推進法人設立について

質問・意見は、特になし。